

## 第16回木の建築賞 二次審査あきた会場 実施報告

第16回を迎える『木の建築賞』は、今年度からNPO木の建築フォーラムと公益社団法人日本建築士会連合会との共同で開催されることになりました。全国を7地区に再編して建築士会全国大会に合わせて連携して実施する事となり、その最初の開催が「あきた大会」との連携となりました。

初の共同開催に向けて事務局補助として準備を進めていましたが、コロナ禍による全国大会の延期に伴い木の建築賞も延期。一年越しとなった今年、対象エリアの東北各県から建築物や活動等の作品42点のエントリーがあり、9月15日にオンライン方式による選考会が行われて、21点の作品が二次選考会へと選定されました。



二次審査あきた会場 遊学舎

二次選考会は、例年、木造建築物会場に発表者・選考委員・聴講者が集い、プレゼンを経て選考していましたが、今回はコロナの警戒レベルが高く、従来型の選考会は困難と断念していたところ、警戒レベルの引き下げもあり、秋田県会場だけでも関係者が集った方式にすることを提案し、それを快諾していただき、選考委員と秋田会場とを結んだ変則的なオンライン選考会が実現する

ることになりました。



選考委員の皆さま



会場内の雰囲気

初めての対応で不安だらけの二次選考会は、会員有志の協力のもと10月30日に「秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎」にて開催されました。会場には、設計者でもある安藤邦

